

令和2年度 事業報告

令和3年6月5日

令和2年度、新年度早々、新型コロナウイルスのまん延による緊急事態宣言が発令され、事業計画の多くが中止、変更となる中、本協会としてできる限りの諸事業を次のように実施した。本協会の社会的役割を深く認識し、競技の振興と普及を目指し国内外の情報を分析して競技の発展に努めると共に、上部団体、加盟団体、並びに関係機関や団体との連携を強化し、諸事業を行った。新型コロナの関係で夏前まで実施できなかった合宿、大会等が、夏以降で規制を順守しつつ実施することができた。オリンピック延期の中で十分な強化及び大会運営ができず困難な一年であった。

1. 我が国の近代五種競技に係る競技力の向上に関すること。

① 国際大会派遣

(1) ワールドカップシリーズに選手団を派遣した。

ワールドカップ第1戦ハンガリー大会(ブダペスト)

- ・2021年3月11日-3月15日国内合宿(千葉県):選手1名・スタッフ2名
- ・2021年3月16日-3月22日直前合宿(ハンガリー):選手7名・スタッフ8名
- ・2021年3月23日-3月28日ワールドカップ:選手7名・スタッフ8名

② 国内強化合宿

(1) JOC選手強化事業および次世代アスリート育成強化事業

ア 2021年3月24日-3月31日 強化指定選手国内合宿@千葉県

(選手8名、スタッフ5名)

(2) JRA助成事業

シニア4回、ジュニア・ユース3回の馬術強化合宿を実施した。

ア 2020年8月23日-8月30日 JRAジュニア・ユース2次合宿@千葉県

(選手7名、スタッフ2名)

イ 2020年9月1日-9月8日 JRAシニア1次合宿@長野県

(選手10名:スタッフ4名)

ウ 2020年9月8日-9月15日 JRAシニア2次合宿@長野県

(選手8名:スタッフ4名)

エ 2020年9月6日-9月13日 JRAジュニア・ユース3次合宿@千葉県

(選手7名:スタッフ4名)

オ 2020年9月22日-9月29日 JRAシニア3次合宿@千葉県

(選手8名:スタッフ4名)

カ 2020年9月29日-10月6日 JRAシニア4次合宿@千葉県

(選手9名:スタッフ4名)

キ 2020年12月24日-12月30日 JRAジュニア・ユース4次合宿@千葉県

(選手13名、スタッフ4名)

ク 2021年3月29日-3月31日 JRAシニア1次合宿@ブルガリア

(選手7名、スタッフ8名)

③ 日韓交流事業

韓国との交流事業は中止となった。

2. 近代五種競技の普及に関すること。

- a) 近代3種大会として、立川大会を開催した。

また各所において「射撃、フェンシング」の体験教室を実施した。

- b) 協会ホームページの充実をはかり、広く会員を募集するとともに企業と連携した普及活動を実施した。

3. 近代五種競技に係る競技大会に関すること。

- a) 第60回全日本選手権大会（令和2年11月26日～29日）を開催した。

コロナ感染防止策を徹底し、大会は無観客で開催した。

- b) 第8回近代3種日本選手権大会兼第15回JOCジュニアオリンピックカップ

（令和2年11月14,15日）を開催した。

- c) 記録会は1回開催できたが、ランキング戦は開催できなかった。

4. 公益財団法人日本オリンピック委員会及び公益財団法人日本スポーツ協会への加盟に関すること。

- a) 評議員会、総会に出席した。

- b) スポーツ指導者育成に関する会議に出席した。

- c) 情報システムに関する会議に出席した。

- d) 競技力強化に関する連絡会議等に出席した。

- e) その他運営に関する協力を全面的に行った。

5. 近代五種競技に係る国際的な団体への加盟に関すること。

- a) アジア近代五種連合（AMPC）に関する会議は中止となった。

- b) 国際近代五種連合（UIPM）に関する会議は中止となった。

6. 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するための必要な事業に関すること。

- a) アンチ・ドーピング活動としてサプリメントの使用についての指導講習会はできなかったが、ドーピング検査は実施した。

- b) 2020東京オリンピック競技大会の延期を受け、審判員の技能維持に必要な事業を推進した。

- c) 国際大会運営に関する知識等を習得するため派遣は中止したが、UIPMの各種資料を活用しての知識技能の習得を推進した。

- d) 2020東京オリンピック競技大会の開催準備を全面的に協力した。

- e) 財政基盤確立の為、協賛企業と契約をした。

- f) 新型コロナウイルス感染防止ガイドラインを作成し予防に努めた。

以上